

診療用放射性同位元素使用器具設置届

年 月 日

（宛先）前橋市保健所長

医療機関 所在地
名称
管理者氏名
（電話番号 ）

医療法施行規則第27条の3第1項の規定により、下記のとおり診療用放射性同位元素使用器具の設置を届け出ます。

記

1 設置予定年月日

年 月 日

2 使用開始予定年月日

年 月 日

3 その他届出事項

別記のとおり

【別記】

放射性同位元素		No. ①	No. ②	No. ③
	放射性同位元素の種類			
	形状			
	年間使用予定数量	Bq	Bq	Bq
	最大貯蔵予定数量	Bq	Bq	Bq
	1日最大使用予定数量	Bq	Bq	Bq
	3月間最大使用予定数量	Bq	Bq	Bq

※放射性同位元素の種類が多数にわたる場合には、その種類ごとに上記事項を記載し、別紙により提出すること。

使用	診療室	使用室の名称				
		使用室の構造（※ 耐火構造、不燃材料又はその他の別を記載すること。）				
		画壁外側における線量当量（※ 最大値を記載すること。単位：mSv/週）				
		通常使用出入口の数（1か所）	適・否	適・否	適・否	
		壁床等仕上	汚染するおそれのある部分の突起物、くぼみ	適・否	適・否	適・否
			仕上材の目地等のすきま	適・否	適・否	適・否
			平滑で浸透しにくく腐食しにくい材料	適・否	適・否	適・否
		汚染検査用放射線測定器	有・無	有・無	有・無	
		汚染除去器材及び洗浄設備	有・無	有・無	有・無	
		洗浄設備の排水設備への連結	有・無	有・無	有・無	
更衣設備	有・無	有・無	有・無			
使用室の標識	有・無	有・無	有・無			
用室	準備室	準備室の名称				
		準備室の構造（※ 耐火構造、不燃材料又はその他の別を記載すること。）				
		画壁外側における線量当量（※ 最大値を記載すること。単位：mSv/週）				
		通常使用出入口の数（1か所）		適・否		
		壁床等仕上	汚染するおそれのある部分の突起物、くぼみ		適・否	
			仕上材の目地等のすきま		適・否	
			平滑で浸透しにくく腐食しにくい材料		適・否	
		汚染検査用放射線測定器		有・無		
		汚染除去器材及び洗浄設備		有・無		
		更衣設備		有・無		
		洗浄設備の排水設備への連結		有・無		
		フード、グローブボックス等の装置の数			台	
		フード、グローブボックス等の装置の排気設備への連結		有・無		
準備室の標識		有・無				
貯蔵施設	貯蔵室	貯蔵方法		適・否		
		貯蔵室の構造（※ 耐火構造又はその他の別を記載すること。）				
		貯蔵室の開口部（特定防火設備）		有・無		

貯蔵室	通常使用出入口の数(1か所)	適 ・ 否			
	扉等の外部に通ずる部分の鍵等	有 ・ 無			
	画壁外側における実効線量(※最大値を記載すること。単位:mSv/週)				
	貯蔵施設の標識	有 ・ 無			
貯蔵箱等	貯蔵箱等の構造(※耐火構造その他の別を記載すること。)				
	ふた等の外部に通ずる部分の鍵等	有 ・ 無			
	画壁外側における実効線量(※最大値を記載すること。単位:mSv/週)				
	貯蔵施設の標識	有 ・ 無			
貯蔵容器	容器外側における実効線量(※最大値を記載すること。単位:μSv/時)				
	空気を汚染するおそれのある同位元素を入れる容器の気密構造	適 ・ 否	適 ・ 否	適 ・ 否	
	液体状の同位元素の容器の構造	適 ・ 否	適 ・ 否	適 ・ 否	
	貯蔵容器の標識	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
運搬容器	貯蔵する放射性同位元素の種類・数量の表示	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
	容器外側における実効線量(※最大値を記載すること。単位:μSv/時)				
	空気を汚染するおそれのある同位元素を入れる容器の気密構造	適 ・ 否	適 ・ 否	適 ・ 否	
	液体状の同位元素の容器の構造	適 ・ 否	適 ・ 否	適 ・ 否	
放射線治療病室	運搬容器の標識	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
	運搬する放射性同位元素の種類・数量の表示	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
	放射線治療病室の名称				
	放射線治療病室の構造(壁床等の仕上げ)	適 ・ 否	適 ・ 否	適 ・ 否	
	画壁外側における実効線量(※最大値を記載すること。単位:mSv/週)				
	放射線測定器の設置	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
廃棄施設	汚染除去器材、洗浄設備、更衣設備	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
	放射線治療病室の標識	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
	病床数	床	床	床	
	排水設備	排水設備外側における実効線量(※最大値を記載すること。単位:mSv/週)			
		排水口における排液中濃度低減能力等	適 ・ 否		
		排液が漏れにくい構造	適 ・ 否		
		排液が浸透しにくく腐食しにくい材料	適 ・ 否		
	排気設備	排液を採取できる(測定できる)構造	適 ・ 否		
		排液流出調節装置	有 ・ 無		
		処理槽の上部の開口部のふた	有 ・ 無		
立入禁止のための施設		有 ・ 無			
排気設備	排水設備の標識	有 ・ 無			
	排気施設外側における実効線量(※最大値を記載すること。単位:mSv/週)				
	排気口における排気中濃度低減能力等	適 ・ 否			
	人の常時立ち入る場所における空気中濃度低減能力等	適 ・ 否			
	気体が漏れにくい構造	適 ・ 否			
	腐食しにくい材料	適 ・ 否			
故障等	故障等における汚染拡大防止装置	有 ・ 無			
	排気設備の標識	有 ・ 無			

廃 棄 施 設 備	保管	保管廃棄設備外側における実効線量 (※最大値を記載すること。単位:mSv/週)					
	管	外部との区画			有	・	無
	廃	外部に通ずる部分の閉鎖設備・器具			有	・	無
	棄	耐火性の保管容器			有	・	無
	設	気密構造の保管容器			有	・	無
	備	こぼれにくい構造等の保管容器			有	・	無
	設	保管廃棄容器の表示	m ²		有	・	無
		保管廃棄設備の標識			有	・	無
管 理 区 域	区域外側における実効線量(※ 最大値を記載すること。単位：mSv/3月)						
	区域外側における空気中の放射性同位元素の濃度 (※最大値を記載すること。単位：Bq/cm ³)						
	区域外側における汚染物表面の放射性同位元素の密度 (※最大値を記載すること。単位：Bq/cm ²)						
	標識			有・無	有・無	有・無	
	立入禁止等の措置			有・無	有・無	有・無	
そ の 他	注意事項の掲示(従事者・患者)			有・無			
	敷地内居住区域・敷地境界の実効線量 (※最大値を記載すること。単位：μ Sv/3月)						
	放射線診療従事者等の被ばく防止			有	・	無	
	患者の被ばく防止			有	・	無	
	放射線治療中患者の標識			有	・	無	
	使用室でのエックス線装置の併用			有	・	無	
	集中治療室等での使用予定			有	・	無	
その他防護措置(※ 措置の内容を記載すること。)							
元 素 を 使 用 す る 医 師 等	職名・職種	氏名	免許登録年月日	免許登録番号	放射線診療に関する経歴		

添付書類

- 1 診療用放射性同位元素使用器具使用室・診療用放射性同位元素使用室・準備室・貯蔵施設・放射線治療病室・廃棄施設図(使用室、準備室等及びこれに隣接する室、上下階の室のほか、院内の廃棄経路等を明示した平面図及び側面図)
- 2 施設の防護に関する検査・測定結果(責任者の所属、職氏名を記したものに限り。)又は遮へい計算書
- 3 管理区域を明示した放射線診療関係施設の平面図

- 注 1) この届出は、個々の診療用放射性同位元素使用器具ではなく、病院(診療所)としての診療用放射性同位元素使用器具全体に関する設置の届けであり、個々の診療用放射性同位元素使用器具の新設・廃止等は別記様式第31号による診療用エックス線装置等変更届によること。
- 2) 診療用放射性同位元素使用器具使用室・診療用放射性同位元素使用室・準備室・貯蔵施設・放射線治療病室・廃棄施設図は、原則として縮尺50分の1以上のものとし、線源から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離(m)並びに防護物の材料及び厚さを記入すること。